

## はじめに

本テキストは、皆さんが無理なく基本をマスターし、かつ応用力を養成できるように編集してあります。

文章分野ごとの単元構成です。単元ごとに、その分野の主な論点を基  
本事項にまとめました。例題・演習問題A・演習問題Bと進むにつれて、  
その分野について深く読み込んでいきます。また、内容理解の助けとな  
るように、演習問題Aは本冊に、例題・演習問題Bは解説に、内容を図  
式化してまとめました。

巻末には漢字トレーニングを設けました。大学入試でも漢字問題が出  
題されるので、じっくり取り組んでください。

本書が有意義に活用されることを祈っています。

## 構成と活用法

本テキストは、次のように構成されています。

▼**基本事項** 各単元のポイントを、簡潔に示しています。

▼**プラスα** 基本事項に盛り込めなかった重要事項を示してあります。

▼**例題** その分野の典型的な内容の、短い文章を扱います。

▼**演習問題A・演習問題B**

演習問題A・演習問題Bでは、文章が徐々に深く長くな  
っていきます。演習問題Bでは、字数の多い記述問題  
も出題しています。

## ◆ もくじ — 現代文Ⅱ

1	現代文の読解(1) — 科学論	2
2	現代文の読解(2) — 医療・環境論	8
3	現代文の読解(3) — 現代文化論	14
4	現代文の読解(4) — 日本人論	20
	漢字トレーニング	26

## 例題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

5

10

15

20

25

## ポイント

- 1 自然現象の規則性を発見することで、近代科学は自然の事物を断片的に制御し、それらを組み合わせることで目的とする現象をひき起こせるようになった。
  - 2 近代科学のもたらした成果とその限界を、具体例で整理してみよう。(例・原子力の利用)
  - 3 制御には目的がなければならず、その目的がより先の目的のための手段として制御されているかという問題も生じる。
  - 4 だが、真に適切な制御であるか、また、真の適切な制御のために人間的、社会的な現象をどのように制御するかについての知識の体系を、近代科学は示せない。
  - 5 かつて非科学的とよばれた概念の枠組みが、自然現象の制御に失敗したのに対し、近代科学の概念の枠組みは、人間的現象の記述や制御に関しては適切でない。
  - 6 しかし、それは自然科学／社会科学・人間科学という二元論ではない。
- ▽自然科学(自然・物質)・社会科学(社会的行動)・人間科学(心・モラル)という、三つの科学の関係を考えてみよう。
- 6 自然科学が自然現象を制御する能力を拡大すればするほど、人間の心やモラルや社会的行動様式の制御が必要になってくる。

問一 [A]・[B]に入る最も適切な言葉を次のア～カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア このようにして    イ いいかえれば    ウ また  
エ たとえば    オ しかしながら    カ むしろ

問二 [v]・[x]、および [y]・[z]に入る最も適切な言葉を次のア～カからそれぞれ二つずつ選び、記号で答えよ。

- v・x    ア 意識    イ 理性    ウ 知識    エ 目的    オ 生命    カ 動力  
y・z    ア 脳    イ 肉体    ウ 資源    エ 文明    オ 未来    カ 宇宙船

問三 ——線①「モデル」のここでの意味として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 絵・彫刻・人物写真の素材となる特定の人物や物。また、職業としてポーズを提供する人。  
イ 文芸作品の素材となった実在の人物や事件。  
ウ 模型。プラモデルなど。  
エ ある事柄の手本や見本となるもの。原型、典型など。  
オ 商品や試みなどの標準とされるものやその形式。モデルハウス、モデルスクールなど。

問四 本文中で、——線②「近代科学」と対比的なものはどれか。最も適切なものを次のア～オから一つ選

- び、記号で答えよ。  
ア 原子物理学    イ 自然科学    ウ 社会科学    エ 人間科学    オ 非科学

問五 二箇所の波線部にある「制御」の内容として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 原爆がある地点に投下することができるように制御すること。  
イ 物理的事象を因果関係によって人間が正確に制御すること。  
ウ 人間の心、あるいはその社会的行動を含めた自然現象を制御すること。  
エ 人類の生存を保つために、環境を破壊する物質の拡散を制御すること。  
オ 自然現象の規則性を発見して、資源を保護するために制御すること。

### 重要語句

- ◇現象⇨知覚される出来事全般のこと。
- ◇断片的⇨まとまりやつながりがなく、きれぎれであるようす。
- ◇生起⇨あらわれ起こること。
- ◇必然的⇨必ずそうなると決まっているようす。
- ◇傾向⇨(ここでは)方向性。
- ◇事象⇨観察できる形をとって現れる事柄。事実と現象。
- ◇概念⇨対象となる複数の事物から共通する要素を抜き出してまとめた一般性のある考え方。
- ◇二元論⇨根本となるものが二つあって、それらを中心として展開される論理。
- ◇モラル⇨人間としての道徳心。

### ヒント

- 問一 まず、空欄の前後が同一の内容か相反する内容かで判断する。
- 問二 v・xは物体が何をもちたいのかを考える。y・zは物理現象であり、人間や社会とも関わるものである。
- 問三 文脈上の意味を問われている。同じ段落の「うまく説明するモデル」にも注目する。
- 問四 直前に「それになりたい」とあるのに注目。「それ」として説明されているものは何か。
- 問五 「制御」について、最終的に適切な方向とはどのようなことかを読み取る。結論としての筆者の主張は、文章中のどこに示されているかを考える。

## 文章の分析

加賀乙彦「科学と宗教と死」

## 人間という存在

人間の身体の大きさや寿命を考えると、科学というものと人間の時間・空間は密接な関係にある。だが、人間の心は科学だけでははかれない。

## 人間と科学と宗教

科学の奥には神祕の領域があり、人間は科学の力によって「神の秘密」を見てしまった。

人間が知った「神の秘密」を扱うための新しい道徳と宗教が必要。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

40

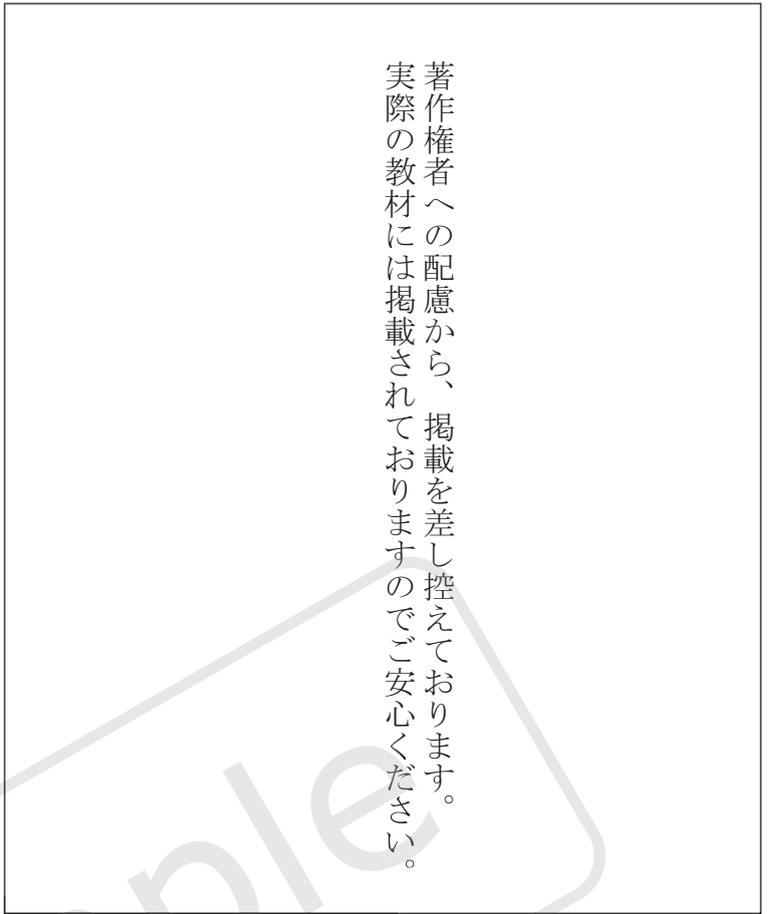
35

30

25

20

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



(加賀乙彦「科学と宗教と死」による)

(注) カトリック：キリスト教の宗派の一つ。また、その信者。

粘稠度：粘り気の度合い。

洗礼：キリスト教で、信者となるための儀式。

問一 [A]に入る最も適切な言葉を次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア しかも    イ あるいは    ウ つまり    エ しかし

問二 [B]に入る最も適切な言葉を次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 思想    イ 理論    ウ 仮説    エ 成果

問三 ——線①「謙虚な気持ちにならざるをえない心境に追いこまれていきま

した」とあるが、それはなぜか。「成果をあげて」に続けて四十文字以内で説明せよ。

成果をあげて


問四 ——線②「それ」の指す内容を「こと」に続くように本文中から四十字

以内で抜き出し、その初めと終わりの五字を書け。


問五 筆者は科学と宗教の関係をどのように捉えているか。「宗教には」に続

けて本文中から十一文字で抜き出せ。

宗教には


問六 本文の論旨として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答

えよ。

ア 人間は誰もが科学と宗教との間を往復する存在であり、人間がよりよく生きていくには、科学と宗教をつなぐ新たな道徳と哲学の発達が必要である。

イ 人間がよりよく生きるには科学の発展だけでは不十分なので、科学を支えるために、これからの時代に適した新たな道徳と宗教の構築が必要である。

ウ 科学と宗教は分離できるものではなく、人間がよりよく生きるには両者が共に不可欠なので、科学と宗教との一体化について深く考えるべきである。

エ 科学の発展によって「神の秘密」に近づきすぎた人間は、これまでの科学に代わって新しい道徳と宗教にこそ、よりよく生きる道を探るべきである。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

演

習

問

題

IB

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

